CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

医療法人社団 曙会 シムラ病院

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。　　欄に数値またはコメントを記入

配　慮　項　目	評価点	重み係数	内　訳									
■1.「地球温暖化対策」の推進												
1.1　建物の熱負荷抑制												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.20	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能		
熱伝導率の低い断熱材を使用し、外皮性能を向上させた。	4.5	0.80	LR1	エネルギー	1	建物外皮の熱負荷抑制						
小計	4.2	0.13										
1.2　自然エネルギーの利用												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	2.8	1.00	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用						
小計	2.8	0.05										
1.3　設備システムの高効率化												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.5	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化						
小計	2.5	0.27										
1.4　設備システムの効率的運用												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.44	LR1	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅以外の評価	4.1	モニタリング		
	1.0	0.44	LR1	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅以外の評価	4.2	運用管理体制		
	0.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅の評価	4.1	モニタリング		
	3.0	0.13	LR1	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅の評価	4.2	運用管理体制		
小計	2.1	0.11										
1.5　資源・マテリアル対策												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水				
節水型の便器を採用。	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無		
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	2	雑排水等利用システム導入の有無		
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	1.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	4.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				
小計	2.8	0.32										
1.6　ライフサイクルCO2排出率												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.4	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮						
省エネルギー基準クリアを目指し、省エネ性能の高い設備機器を採用し、ライフサイクルCO2排出低減を図る。												
小計	3.4	0.13										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	2.9	0.71										
■2.「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1　温熱環境の向上												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出						
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上				
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善				
小計	2.2	0.97										
2.2　交通負荷抑制												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制		
小計	2.0	0.03										
2.「ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策」の推進の評価	2.2	0.18										
■3.「長寿命化対策」の推進												
3.1　耐用性の向上												
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		
給排水の配管に、耐用年数の高い材質の物を採用。	3.0	0.13	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	2	免震・制震・制振性能		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数		
	5.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	5.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔		
小計	3.3	0.63										
3.2　設備の更新性												
(コメント)　※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保		
小計	3.0	0.37										
3.「長寿命化対策」の推進の評価	3.2	0.11										
■重点項目の総平均(上記3項目)	2.8											